流域治水の自分事化に向けた取り組み計画

令和7年5月29日

国土を整え、全力で備える
国土交通省　中国地方整備局
出雲河川事務所

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure and Transport

斐伊川水系流域治水協議会

計画：「流域治水の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和７年度の取組計画を①②③の別に記入（横断可）

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○報道機関と気象情報や河川に関する情報発信等についての情報共有（懇談会）を実施
○流域市町の小学校等からの社会科見学等の機会を利用してダム・放水路等の役割や効果、必要性を説明

教育活動

○自主防災組織、学校等からの依頼による出前講座や研修会等の開催
○わかりやすい教材等を用いた防災教育

訓練活動

○ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進の取組
○避難情報や防災情報等を活用した住民参加型の訓練

水防活動の支援

○重要水防箇所の合同点検
○排水施設の操作説明会や操作訓練の実施
○防災士の取得補助など地域防災力向上のための人材育成

流域治水の広報

○広報誌等で避難行動に関する啓発活動を実施
○防災イベント等における啓発活動を実施

リスク情報等の提供

○浸水想定区域等の公表
○総合的な防災マップの作成・配布、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・配布
○避難場所や経路等に関する情報の周知（気象・防災情報の提供）
○想定浸水深の現地表示
○危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設
○防災情報サイトの整備によるリアルタイム情報の発信
○防災メールやSNS等を活用した住民への情報提供
○メディアと連携による洪水・土砂災害情報の提供
○防災ラジオの配布

計画策定

○防災指針（立地適正化計画）の作成・公表（米子市、松江市、雲南市）
○広域避難体制等の構築
○住民一人ひとりの避難計画（マイ・タイムライン）の作成支援
○要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える

#3

令和7年度：自分事化に向けた取組のロードマップ

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure and Transport

取り組み・主対象		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
①知る機会を増やす	◎水災害、流域治水の広報 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	広報誌等で避難行動等に関する啓発活動、防災イベント等における啓発活動（適宜実施）			
	◎連携活動 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	報道機関と気象情報や河川に関する情報発信等についての情報共有（懇談会）●			
		小学校等の社会科見学等の機会を利用しダム・放水路等の役割等を説明			
②自分事と捉えることを促す	◎リスク情報等の提供 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	浸水想定区域等の公表、洪水・土砂災害ハザードマップの更新、配布等			
		避難場所や経路等に関する情報の周知、市民への情報提供、メディア連携			
		危機管理型水位計・監視カメラの設置、増設			
	◎教育活動 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	自主防災組織、学校等からの依頼による出前講座や研修会等の開催			
		わかりやすい教材等を用いた防災教育			
	◎訓練活動 ｜地域｜個人｜	住民参加型の避難訓練			
		ハザードマップの周知および住民の水害・土砂災害リスクに対する理解促進			
③行動を誘発する	◎計画策定 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	広域避難体制等の構築			
		マイ・タイムライン、要配慮者利用施設避難確保計画の作成支援			
	◎水防活動の支援 ｜地域｜個人｜企業・団体｜	重要水防箇所の合同点検●			
		排水施設の操作訓練等●			
		地域防災力向上のための人材育成			

国土交通省 Ministry of Land, Infrastructure and Transport

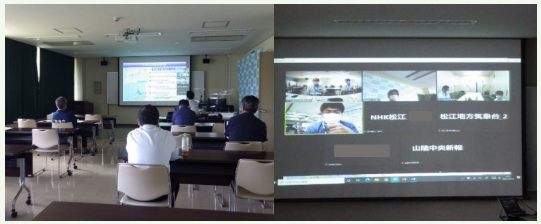
斐伊川水系流域治水協議会（令和6年度代表例）

結果報告： 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる（自分のためにも、みんなのためにも）

連携活動

○報道機関と気象情報や河川に関する情報発信等についての情報共有（懇談会）を実施（2回（7月,11月））



教育活動

○自主防災組織、学校等からの依頼による出前講座や研修会等の開催
（松江市：出前講座 131件）

訓練活動

○避難情報や防災情報等を活用した住民参加型の訓練
（安来市： 約55名）

水防活動の支援

○防災士の取得補助など地域防災力向上のための人材育成
（松江市：13名取得）

流域治水の広報

○防災イベント等における啓発活動を実施

リスク情報等の提供

○河川監視カメラのライブ配信によるリアルタイム情報の発信
（安来市：R6公開）

○防災ラジオの配布
（雲南市：約11,000台）

計画策定

○支え愛マップの作成支援（鳥取県：28地区作成）

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える